異文化対処・コミュニケーション能力育成を目指した日本語教育
－枠組設定と教育実践例－

（財）言語文化研究所
研究員　長谷川恒雄

Ⅰ：枠組設定

§　異文化交流としての日本語教育

・文化交流　　国家・社会が行う活動
　　個人に視点をおく活動

仏東洋語学校：書物を通じた異文化文明理解

・行為者　←接触←異文化情報
　↓(学習者、第 2 言語教師)
変容・人としての成長活動
↓
（自文化：相対化／絶対化

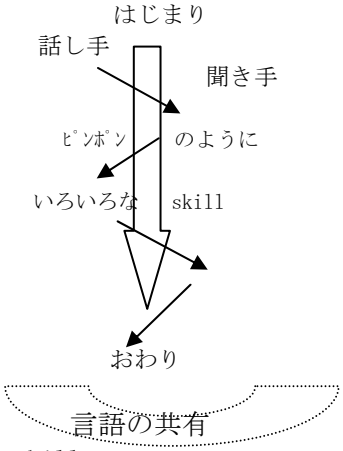
＝｛もの
　「こと」ば：書物---------- lit、規範
　　人----------colq、communication

→　VTR

「こと」ば情報を得るための「1 手段」が第 2 言語＜日本語＞教育 lit、colq）
↑↓
「従来の外国語教育」　言語＜lit＞、教える側中心

§　対人コミュニケーション

文化（認知・行動、com. 様式）の共有



会話の rule & skill

	A	B	
はじまり	ねえ		
		なあに？	受容
TOPIC 提示	あれ		
		どれ？	不明情報をたしかめる
情報 OPEN	ほら、あのｽｶｰﾄ		
		いいね。かわいい！	情報への反応
		買おうかな？	話のﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟの交代
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ機能	うん、買ったら！		
		うん、そうしよ！	次の行動の決定
おわり	じゃ、行こ!!		

skill

1. 開始法　2. 話題提示　3. 情報開示　4. 情報聞き出し
5. 協力による文完成　6. TURN TAKING　7. 話題維持ﾋﾟﾝﾎﾟﾝ技能　8. 傾聴表示法
9. 言い替え技能（FUNCTION　CODE SWITCH）　10. 終了法

○　異文化間コミュニケーション・トラブルの事例

・－日本の職場で悩む外国人－

私のごく身近なところに二十代の中国人女性がいます。日本人と結婚し、来日して数年がたちました。その彼女が最近、ある会社にパートとして出るようになりました。しかし、職場の人間関係でかなり苦しんでいます。彼女は職場のトイレと社員食堂の掃除当番を拒否しました。その理由は、当番が勤務時間終了後ということと、契約内容にはないという点です。民間企業ではサービス残業は当たり前というご時世なのでしょうか、彼女以外は掃除当番をしているとのこと。彼女と同じ日に当番に当たった人は、彼女の分も担当しなければならず、そのことで彼女に対する職場の不満が広がっていきました。それ以外にも、彼女が職場でとる対応は多くの日本人と違っており、溝がますます広がりました。「身勝手な外国人」「外国人は扱いにくい」という意識が生まれ、逆に彼女には「日本人は差別をする」という不信感が生まれたのです。彼女の話を聞く限り、一方的にどちらかに大きな非があるようには思えません。ただ、感じ方や自己主張の仕方に違いがあるのでしょう。私は「あなたが間違っているとは思わないけど、職場の人とは仲良くしていきたいね」としか言えず、悩みにこたえていけないのです。皆さんのお知恵をお借りしたいと思っています。　　97.11.7 朝日 投書

・－残留孤児と異文化の壁－　「中国帰国者には日本は異文化の国。異文化を理解するには事前に文化の区別を教えるしかない。その違いを納得した上で孤児たちが日本に帰国しなくなっても、それはそれで日中両国にとってプラスになる」　　中国人精神科医　投書 97.10.14 朝日

・－「異文化の壁」超える受け入れ策を－

日本文化を一方的に、観念的に教えても何の解決にならない。異文化理解というのは本来、片方の学習だけで成立しないものだからだ。日本人の側も学ばなくてはならない。それも「事前」にではなく、触れ合いの中から軋轢や葛藤を繰り返しつつ、相手を理解し、自分を理解してもらう努力をするプロセスこそ、「異文化の壁」を超えるものが見つけられると信じる。問題の本質は、「異文化適応・異文化理解」を支える「受け入れ態勢」の不備にある。

藤沼敏子　投書　　97.11.12 朝日

○　接触練習　　『名古屋大学　現代日本語コース中級１』　　李（1999）以前の発行

A「先生、来週の火曜日のことなんですが。」　　B「はい、何か------。」

A「あのう、水曜日の午後に変えていただけませんでしょうか。」

B「ええと、ちょっと待ってください。水曜日、水曜日は、いいですよ。あいています。」

A「あ、そうですか。ご迷惑じゃありませんか。」　B「いいえ、別にかまいません。」

A「すみません。実は国へ帰る友達がいまして、空港まで送って行くことになったんです。」

B「あ、そう。時間は同じでいいんですね。」　　A「はい。」　　B「はい。わかりました。」

A「みません。よろしくお願いします。」

・教えるべきは、どの文型か？　　→機能：前半＝要求　後半＝詫び

・「国へ帰る友達を空港まで送って行くことになったので、来週の火曜日の約束を水曜日の午後に 変えてくだい。」は、対人関係から見てどうか？

・　「日・中・韓母語話者の「断り」行為の対照研究」　李威（1999）

1）詫び→理由→不可→関係維持　＝　誠に申し訳ございませんが、今日はちょっと用事がありまして、遠慮させていただきます。又、今度お願いいたします。　　（原文日本語）

2）理由→詫び→代替案　＝　今夜、私の親族が家に来ることになっています。本当に申し訳ございません。もし宜しかったらちょっと遅くなって行ってもよろしいでしょうか。（原文韓国語）

3）不可→理由→詫び→代替案　＝　先生、おそらくだめです。今夜高校時代の友だちがわざわざ大連から私に会いに来るんです。本当に恐れ入りますが、来週の土曜日に学部で社交ﾀﾞﾝｽﾊﾟｰﾃｨを行います。その時はぜひ先生と一緒に精一杯楽しみましょう。　　（原文中国語）

	詫び先行	理由先行	不可先行	ためらい先行	その他
日本語	53.8%	24.7%		0.3%	21%
韓国語	28.3%	47.5%	6.7%	5.3%	12.2%
中国語	28.7%	31.7%	22.7%	0.2%	16.7%

§　認知の文化性

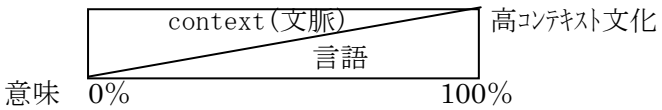
・コミュニケーションにおける言語・非言語の役割

ﾊﾞｰﾄﾞﾎｲｽﾃﾙ：　対人 com.＝言語 35%、　非言語 65%

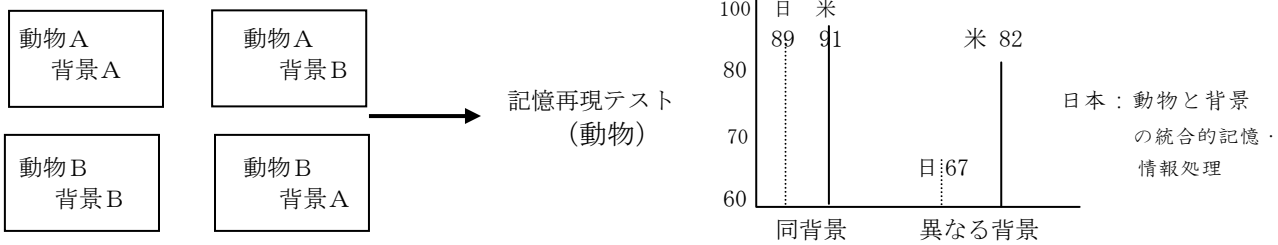
ﾒｰﾚｲﾋﾞｱﾝ　：　言語 7%、ﾌﾟﾛｿﾃﾞｨ 38%、表情 55%

第 2 言語教育は、言語以外の情報を扱わなくてよいのか？

・意味伝達法　　－日本語：高コンテキスト文化－

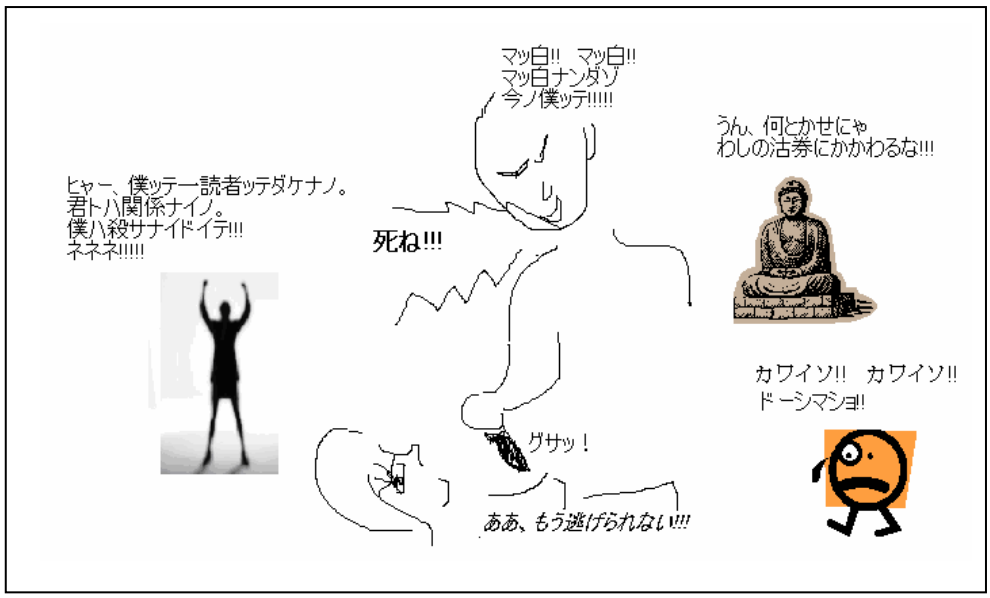


・認知法における文化性　－日本語話者：言語情報と背景情報の統括的認知処理－　　→　VTR(-16m)



・日本語：濃密な共通の暗黙知を前提としたコミュニケーション

マンガの「言葉」理解　　－「マンガ」の中の言葉情報をどのような順番で理解するか－



§　異文化間移動　－異なる環境に移動した際に生じるリスク－

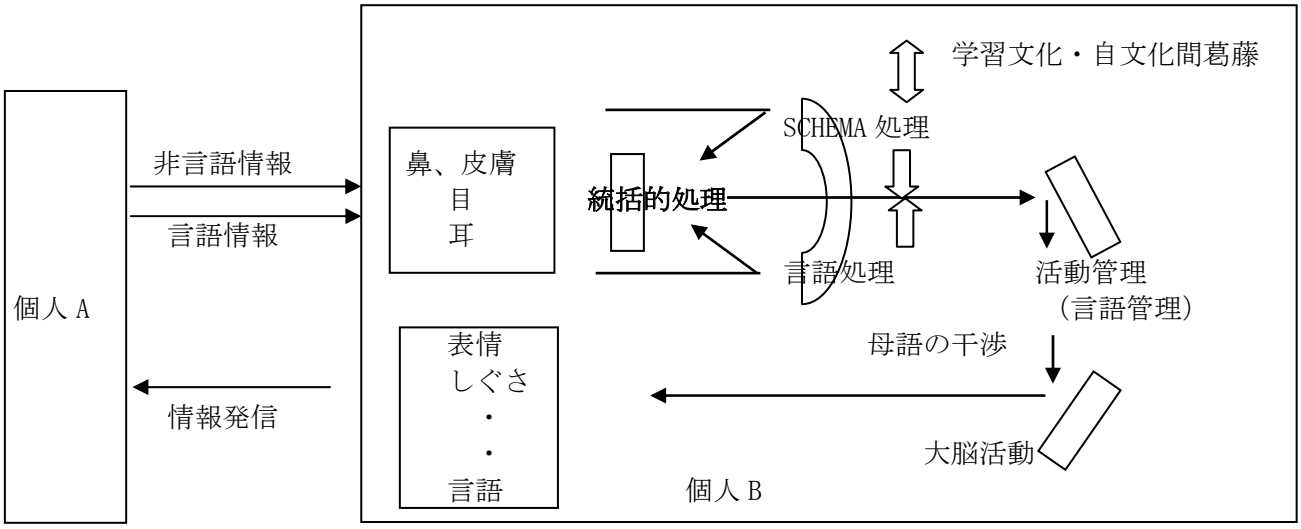
囚人症候群：社会生活を旨とする人間が、不慣れな規制・限定された環境･ｽﾄﾚｽの下に置かれながら生活する際に生ずる強度の心理的社会的問題

不慣れな環境下（異文化間移動）では、同様の問題が発生する

囚人にとっての刑務所	→発生する問題
1）自分の意志に反した拘束を強いられる	→現実性から逃避し、ひたすら刑期の終わる日を待つ
2）自由な行動を制限される	→逃亡を試みる
3）ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰ、個性の否定	→他人と違う自分を確立しようとする
4）情報から隔絶される	→仲間探しをし、集団を結成、強がる行動をする
5）快適な社会生活から隔離されている	
イ　家族・友人から絶縁されている	ロ　お金を自由に所持、使用できない
ハ　複雑な規則に服従	ニ　定められた日程、労働に従わされる
ホ　変化のない食事	へ　他人に依存
ト　周囲の不快、疑い、恐怖の目	チ　社会復帰した後も続く疑義の目
→　規則命令の無視	→　器物環境を破壊する
→　種々の身体の病気、心身症	→　精神障害、自殺

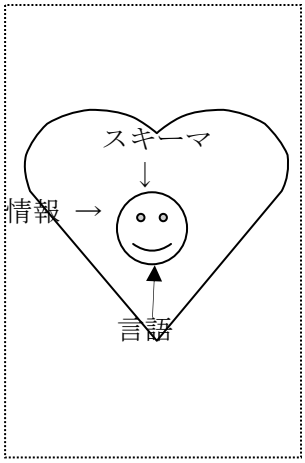
§　対異文化活動支援の必要

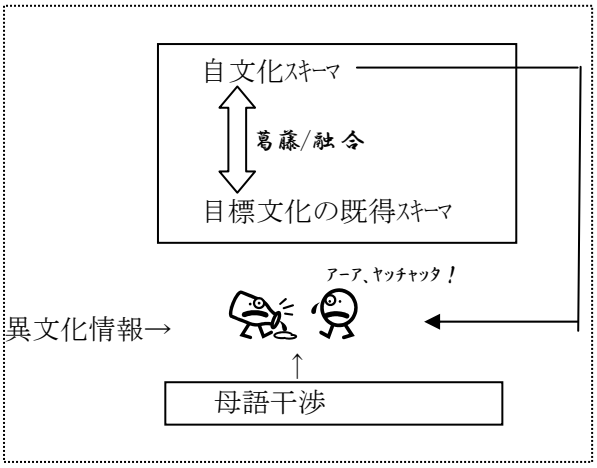
○　com.（双方向制の意思伝達活動）の成り立ち



・スキーマ＝過去からの個人の経験を通した知識の蓄積。社会としての共通性・差異に対する許容性
（社会文化・社会言語、通時・共時＜制度組織・日常生活行動＞）
cf.1 専門性を同じくすることから生じる副文化の共通性
2 日本事情　１文明学　２地域研究　３異文化活動支援
3 対異文化活動支援は、主文化ではなく、副文化からの視点が必要

○　旧スキーマとの調整　－葛藤、融合－





①ｶﾙﾁｬｰｼｮｯｸ
②既得ｽｷｰﾏの不足がもたらす誤解
③支援者は葛藤を融合化に導く指導技能（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ技法）が問われる
④目標文化ｽｷｰﾏの補強訓練
目標文化の専門研究家ではない

⑤我々は異文化者の異なりに対する寛容な許容態度が必要
異文化体験による許容精神の育成
ＥＣ：ｿｸﾗﾃｽ／ｴﾗｽﾑｽ計画

○　異文化適応におけるﾊﾟｰｿﾅﾘﾃｨと異文化への移動後の推移　（略）

○　文化相対化
Ⅰ　母文化中心
1　異文化と関係ない・知らない
2　接触し、拒否する　・浅い知識・ｽﾃﾚｵﾀｲﾌﾟ化した知識→不満→拒否
・深い接触をもちながらも、他文化を好ましくないと受けとめ、自文化を絶対化する
3　母文化と同じと判断　・異なりの不認知→異文化間摩擦

Ⅱ　文化相対化
1　消極的受容：母文化と違う価値・行動の違いを認め、異文化を好ましいと感じながら、機軸としての自文化は強い
2　違いを判断し、異文化への接近を図る　＜注：異文化崇拝、自己文化否定＞
－ｉ　心理的に距離（防衛メカニズム）をおきながら、変容
－ⅱａ　止むを得ないが、異文化に接近
・消極的に異文化への接近、浅い適応　→行動の仕方、物を見る方向に見当がつくようになる
－ⅱｂ　積極的・深く異文化に接近　←支援体制としての異文化対処・コミュニケーション技能育成教育
ｂｱ　理解できるようになる
ｂｲ　異文化に適応（母文化にｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨをおき、異文化も自動的に使い分けられる）←一般に求められるｺﾞｰﾙ
3　自己を自己文化から開放：どの文化座標からも距離をおいた自己（独自の個人ｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨｰ）に変容、必要によりどのような文化座標にもシフトができるﾊﾟｰｿﾅﾘﾃｨへの成長

注：段階別せいちょうとは限らず　問題別に異なる態度を選択することもある
第２言語学習者は文化相対化の刺激を絶えず受け、変容が迫られる（相対化←→自己文化絶対化）
日本語教師は、日本語・日本文化の絶対的ﾓﾃﾞﾙに留まってよいのか？

○　学習支援の方法
・体験学習：行動の中で、どう言葉を使うか
生活実体験（ﾎｰﾑｽﾃｲ、ボランティアとの話合い、イベントへの参加）
＝実際の日本人の観察の発見---言語・非言語・社会言語学的要素・個人のﾊﾟｰｿﾅﾘﾃｨへの接触
可変的個別的経験--->対人相互作用のﾙｰﾙ・相互作用調整法の自己発見
継続的経験からﾙｰﾙの修正、一般化＝修正姿勢育成・共生的態度育成
模擬的体験学習としての視聴覚教材（ドラマ・アニメ）

Ⅱ：教育実践例

1．国際交流基金日本語国際ｾﾝﾀｰ「日本語教育用「NHK ﾃﾚﾋﾞ番組集」1（六番目のｻﾖｺ　25m.）
依頼　・自然な話し言葉の教材化　　・海外中等教育向け
目標　・視聴覚教材の固定観念　→　新たなパラダイムの期待
内容理解（聴解）→コミュニケーション技能の向上のための生成練習
教室（閉ざされた空間<教師・学習者>）→日本人社会・日本人学校との関係作りの媒介
遠隔地間ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ（異国学習者同士、異国教師間＜実現せず>）
・映像を通した異文化理解（日本語がわからなくてもできる異文化理解活動例）

2．解説書目次
①本書の構成　②六番目のサヨコ（あらすじ・人物紹介、シナリオ）
③活動例　　④授業設計のための「シナリオ」分析
1）会話文化ﾉｰﾄ＜縮約形、省略、倒置＞
2）コミュニケーションを成り立たせている要素

3．扱い①　規範的文型（積み上げ教育）と話し言葉の比較
○発音
・規範外発音　　001 玲おっはよう。　002 雅子あっ、おはよう。　→問題：表記、生成練習時のモデル
・音変化　－規範形との関連表示－　　006 玲：ええ？　だっていつも一緒にいんじゃん

整理番号	規範の形	ﾄﾞﾗﾏの発音	発話番号
5	いる（じゃん）	いん（じゃん）	006　153
15	～じゃない（か）／ではないか	～じゃん	006　150　251　298

「ん音化」	規範音	ﾄﾞﾗﾏの発音	頻度
・な行系	な	あんた	×２
	に	なんか（何）	×５
	の	んだ	×36
・る系	る	言えんのか	×２
・いる系	いる	何やってんのよ	×３
	いるの	何やってんだよ	×２
・特別系	んのう	津村さんち	×１
「って音化」			
ってＶ	と	～っていうのは聞いた	×12
ってＮ	という	サヨコだってこと、もろバレだぞ	×11
って。	と～が言っていた	～して、大ケガしたって。	伝聞×6
	と聞いたけど本当？	予備校、千葉まで通ってんだって。	話者Ｑ×1
	と私は思う	なんで、来るのかなあって。	話者考え×1

○語彙の区切り　　食べてる→食べて（い）る　「て」はドッチ？　教育用語との分類法矛盾

○倒置　論理的な文との関係
・205 無理しないほうがいいよ。　206 体とか調子悪いんだったら。　207 俺も去年そうだったから。
↑俺も去年そうだったから、体とか調子（が）悪いんだったら、無理しないほうがいいよ。

・445 夜中にね、いろーんな人の声がするの。　446 若い人やお年寄りや。　447 住んでるのは普通の家族のはずなのにねえ。
↑住んでるのは普通の家族のはずなのに、夜中にね、若い人やお年寄りや、いろーんな声がするの。

・
Ａ：頭がいたかったから、病院へ行った。
↓↑
Ｂ：病院へ行ったのは、頭がいたかったからだ。→**倒置 B1：頭がいたかったからだよ、病院へ行ったのは。**○→Ｖのは
頭がいたかったからだよ、病院へ行った。　×→Ｖ。

138 玲：秋のせいだからね。　139 秋：何がだよ。　140 玲:のっぺらぼうで、しくしく泣いてるサヨコのウワサ。
上を B1→B→Ａに変形すると---
B1：秋のせいだからね、のっぺらぼうで、しくしく泣いてるサヨコのうわさは。　←○ Ｎは。
B1：秋のせいだからね、のっぺらぼうで、しくしく泣いてるサヨコのうわさ。　←○ Ｎ。
↓
○B：のっぺらぼうで、しくしく泣いてるサヨコのうわさは、秋のせいだからね。
????↓????
×Ａ：秋のせいだから、のっぺらぼうで、しくしく泣いてるサヨコのうわさ【がたった】。
○Ａ：秋のせいで、のっぺらぼうで、しくしく泣いてるサヨコのうわさ【がたった】。

４．扱い②　コミュニケーションからの扱い

1）　話しを始める

004 玲　　ねえねえ、まー、由紀夫君とはどうなの？　　005 雅子　そんなー、どうでもないよー。
006 玲　　ええ？　だっていつも一緒にいんじゃん。あははは。　007 雅子　うるさいなー。

2）　割り込む

050 雅子　秋と津村さんにこれだけ派手にやられちゃあなあ。　051 由紀夫（割り込み）なになになに？　また俺の噂？
052 雅子・玲　してねえよー。

3）　思い出したことに話を切り替える

308 耕　　それじゃあ、僕はそろそろ。塾ですから。　309 玲・秋　行ってらっしゃいませ。
310 耕　　そうだ、電話があった。　311 玲　電話？　私に？
312 秋　　どうせ、マーの長電話だろ？　313 耕　じゃなくて、津村って人。

4）話題を終わる

174 雅子　照明が落ちてきたのも偶然ですか？　176 皆　　そうだ、そうだ。・・そうだよ。
177 先生あー、静かに、ちょ、静かにしてくれー。今はその話じゃないだろ。　179 雅子　けど・・。
182 先生　分かった。じゃあ、席について。はい、学活始めるぞ、ほらっ。はい、はい。

5）感情の伝達

073 玲　　キャーーーっ！　074 秋　　シーッ。バカ、おれだよ、おれ。
076 秋　　花瓶戻すの、玲一人じゃ心配だったから、ついてきた。077 玲　　もうっ、おどかしてー。

054 溝口　あれ？　由紀の名前は？　055 由紀夫　しまった！　答案用紙に名前書くの忘れた。

6）１つの言い方、多様な機能（例：ちょっと）

・申し訳ないと思う気持ち　008 雅子　　悪い、ごめん。ちょっと先行く。
・言いにくいとことを表す　160 学生　　三年生がちょっと・・・。
・呼びかけ　418 先生　関根　　419 秋　あ、はい。　420 先生　　ちょっと。
460 玲　失礼します。　461 老女　ちょっと、ちょっと。あなたここのお家訪ねてきたんじゃないの？
・あまりたいしたことではないという気持　318 秋　おお、来てたのか。　319 由紀夫　こっちのほう来たから、ちょっと。

7）対人関係による挿入　例

・対人関係の言葉を取り去りながら、論理の追及が要求される場合
160 生徒 A（女子）三年生がちょっと・・・。　161 先生　ちょっとはなんだい？
162 生徒 B（女子）ことしはサヨコが２人いるからって。　163 先生　サヨコ？
164 生徒 A（女子）ほら、赤い花が二回飾ってあったでしょ。そういう年はよくないことが起きるんじゃないかって。

069 由紀夫　校庭の隅にさ、お墓みたいのあるじゃない。　070 秋　墓？　071 由紀夫　むかし国道で、この中学の女の子が事故にあって死んだんだって。　そこにいたんだよ、あいつが。

8）練習例

269～277：お客さん（この間も花を買いに来た）は西浜中学の２年で、店の女主人の息子（関根秋、唐沢由紀夫（離婚後、一人は妻の姓、一人は夫の姓）と同じ。知り合いかと思って聞いてみたら、そうではないそうだ。
↓
会話練習

・客（何かを買いにきた）・店の人（個人的な事情を交えながら）のやりとり。
・「挨拶→注文→世間話→終了ﾏｰｸ」を入れること。

110 玲　『その一　サヨコは赤い花を活ける。』
111 秋　『その二　サヨコはサヨコを演じる。』
↓
「異性」に対する注文を箇条書きにせよ。

男性→女性　一．文句を言わずに、ちゃんと家事をすること。
二．ブランド品を望まないこと。
三．冷たいビールの注ぎ方を習っておくこと
四．僕はほかの女性とはなすとき、やきもちをやかないこと。
女性→男性　一．毎日ラブソングを唄いながら電話をすること。
二．浮気しないこと。
三．お互いのプライバシーに干渉しないこと。
四．ラブホ代を負担すること。
五．上王様と呼んで、命令に逆らわないこと。

５．文化的背景

○クツ箱　　玲、津村沙世子の靴箱に封筒を入れる

○離婚と改姓

265 沙世子　すいません。　266 千夏　はーい。　267 沙世子　これ 10 本頂けますか？　268 千夏　こちらね。お嬢さん、この間もいらした西浜中学の。何年生かしら。　271 沙世子　２年です。　272 千夏　あら、息子とおんなじ。関根秋っていうのと、唐沢由紀夫っていうのと。　274 あ、一人はね、元の主人と一緒だから名字が違うんだけど。　275 沙世子　ああ。　276 千夏　ご存じ？　ひょっとしてお友達？　277 沙世子　いいえ。私、転校してきたばかりなんで。

○日常会話に現れる認知の文化性

168 黒川先生　まあ、サヨコの話は先生も聞いたことがあるなあ。169３年に一度、サヨコになった生徒が危険からみんなを守るって、そういう話だろ。　170 まあ、ジンクスだな。　171 雅子　ジンクスじゃないと思う！

241 塔子　そもそも小夜子の正体がほかの人にバレたらね、本物のサヨコが怒って扉を閉ざす。

249 塔子　四番目のサヨコだった人がみんなにバレてね、それで、その年の学校はさんざんだったらしいよ。修学旅行で食中毒にあったり、台風で図書館のガラスが全部割れたり、公立高校の受験日に路線バスの事故があったり。251 溝口　やだー、それって全部天災じゃーん。　・・・　254 由紀夫　食中毒ってー、天災かなあ。

255 部員Ａ　それほどサヨコの呪いは恐ろしいってことよ。　256 部員Ｂ　じゃあ、もしその年のサヨコが成功したら？　257 雅子　「扉は、必ず開かれる。」

『ﾛｽﾞｳｪﾙ星の恋人たち１』　ﾒﾘﾝﾀﾞ･ﾒｯﾂ 1998　金子司訳 2001　早川書房

・銃---爆発音---「すごい血」ﾏｯｸｽは---ﾘｽﾞの体細胞に神経を集中し---細胞同士をぴったりとくっつけた＜銃創の超能力による治療＞。ｹﾁｬｯﾌﾟ---を---ﾘｽﾞの制服にしみこんだ血の上に中身をぶちまけた＜秘密保持＞。p21～28

→ 特別の超能力者が、ﾘｰﾀﾞｰとなり、救う／みんなで仲良く。　ｱﾒﾒ『ﾄﾞﾗｴﾓﾝ』がｱｼﾞｱで超ｳｹ、米国でﾋｯﾄしないのはなぜか？

・「わたしは＜白紙計画＞という組織の一員だ。我々の目的は合衆国内にのさばる異星人類を狩り出し、我々人類の脅威とならぬよう配慮することにある---きみの銃創を治したのと同じｴｲﾘｱﾝが、この男を殺したんだぞ」「あたし、撃たれたんじゃありません。ころんだだけです。それで、ｹﾁｬｯﾌﾟの瓶を割ってしまって」「そのｴｲﾘｱﾝはこれからも人間を殺すだろう---それでもいいのかね？---いつか近いうちに---母親か父親か---の遺体を確認することになる。きみはそれを未然に防ぐことができる。ただ、ｴｲﾘｱﾝの居場所を教えてくれさえすればいい」p161～162

→ 善悪　／　天変地異をなす怨霊を恐れる（cf.歌舞伎の勧善懲悪）

○　異文化理解教育としての扱い　－日本語を介さない使用法－

・日本語を介さない使用：字幕＜英語、ｽﾍﾟｲﾝ語--予算上不可--＞　ＤＶＤ・吹き替え副音声ＣＨ＜著作権上不可＞

・活動例：タスクｼｰﾄ（教師が母語で作成）

	あなたの国	日本
学校へ行くときの靴		
学校で履く靴		←ﾋﾞﾃﾞｵを見て観察
教室にあるもの		日本人学校を訪問
試験結果の提示法		ｲﾝﾀｰﾈｯﾄでの問い合わせ

→映像情報（言語でなくても）を介して異文化情報（文化相対化に向かわせてくれる）に接することが可能となる

Ⅲ：結語

○桃山時代の宣教師ﾛﾄﾞﾘｹﾞｽの指摘

日本語の学習・教育法に２つの道がある。各々は目的が異なり、教科書も教師の資質も異にし、学習成果も異なる。

１：その国の人々と日常的に接触し、自然に言語を習得する方法。共生の実践の中から自然な会話が習得可能、日本人と同等に話せるようになる。ただし、多大な時間を要し絶えざる接触が必要。

２：文法から学習する方法。普遍的学習方法であり、宣教師はこの学習方法に慣れており、基礎習得は短時間ですむ。ただし欠点は、間違いだらけな会話・進歩が不可能なところにある。教育の改善策として、「教師・教授法・教科書」の見直しが必要。」　注：ﾛﾄﾞﾘｹﾞｽはこの改善策を、１には適応させていない！

第２言語教育は、ﾛﾄﾞﾘｹﾞｽの時代からどれだけ進歩したのだろうか？